

次はタレ作りに参加したいです

橋本 里佳さん(33歳)

高知市より



2年前、友人のフレミズ活動をSNSで見たことをきっかけに、フレミズに加入しました。初めて参加したクリスマスリース作りでは、参加者も多く色々な世代の方がいましたが、皆さんが気さくに話しかけてくれて、とても嬉しかったです。次は焼肉のタレ作りにも参加したいと思っています。普段は看護師として働いています。患者さんに寄り添ったケアを心掛け、信頼関係を築くことを大切にしています。

趣味は縫い物や編み物。服やバックなど、子どもの持ち物を手作りすることが好きです。キャンプも好きなので、今年の夏は家族で天狗高原に行きたいですね。

ちょっと道草していきませんか

店名: Michi Kusa Cozy

(左) 近森 美智子さん(62歳)

(右) 梨岡 美保さん(34歳)

芳原より



地元の農産物と、県内のハンドメイド作家さんの作品に触れてもらえる場所を作りたいと考え、家族で4年前に開店しました。減農薬の文旦と温室小夏のほか仕入れた地元の季節野菜、ベビー用品や小物・アクセサリ・木工品などを販売しています。こんな野菜が売ってる! こんな作品があるんだ! と感じてもらえるようなお店にしていきたいですね。

店名の“Cozy”は英語で「居心地がいい」「こじんまりとした」などの意味があります。春野

運動公園あたりを通られる時は「ちょっと道草しようかな」と思って、当店に寄って見てもらえれば嬉しいです。

Instagramで営業日や入荷情報などを発信しています!

Michi Kusa Cozy
高知市春野町芳原2569-1
営業時間: 10:00~17:00 (商品なくなり次第終了)
定休日: 木、日、第2・4金曜日 (商品あれば営業)



高知 地区から こんにちは

弘岡下より



「一閑張」を1日でも長く続けたい

坂本 町美さん(70歳)

趣味を探していた17年前、地元のイベントで「一閑張(いっかんばり)」という伝統工芸品に出合い一目惚れ。一閑張は、古く・壊れかけ・捨てられるものに和紙を貼り、柿渋で色を塗り補強する、重厚感のある工芸品です。初めは様々な方に習いましたが独学で作り始め、「春の里」にも昨年からは出品するようになりました。

一閑張は、古物に命を吹き込み、再利用できることが魅力で、私の好きな作品は木や竹のバックです。買ってくれた方に喜んでもらえることがやりがいであり生きがいで、1日でも長く続けていきたいと思っています。

意欲を持って栽培管理

永森 公啓さん(47歳)

以前は設備点検の仕事をしていましたが、父が始めた農業を手伝うようになり、14年前に就農しました。現在はイチゴを10アール、ミニトマトを30アール栽培しています。

「良いものを作りたい」という意欲を持って管理し、量より質を重視しています。栽培のこだわりは、自作の酵素をかん水や葉面散布で使うこと。実にツヤが出て葉も元気になり、味も良くなるオリジナルの栽培方法です。出荷時に「おいしかった」と声を掛けてもらうことが嬉しいです。

趣味は夜釣りです。8年続けてアカメを狙っていますが未だ未捕獲、いつか大物を釣り上げたいです。

とさのさとより



できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！

5 高知地区 生姜部会 出荷最盛に向け目慣らし



選果基準を確認し合う生産者ら

春野生姜部会は3月12日、JA集出荷場敷地内で今年1回目の新シヨウガの目慣らし会を行いました。生産者、JA職員が参加し、選果基準の確認や意見交換を行いました。販売課は新シヨウガの現物を見ながら、選果基準を生産者と確認し合ったほか、現在の出荷量や秀品率、市況の動向などを報告。洗浄時の基準についても共有しました。営農指導課はハウス内の温湿度管理について、今後の天候から日中の保温や夕方の換気などが重要と呼び掛けました。販売課の木戸純平課長補佐は「来月からの出荷最盛期に向け市場への要請や試食宣伝を行い、販路開拓に取り組んでいく」と意気込みを話しました。

3 高知地区 直販所と青壮年部が県産品をPR



ちくきゅうの試食を配布する青壮年部員 写真④

直販所「春の里」と青壮年部は3月30日、春野町で行われた「春野うまいもの横丁」に参加しました。春の里は弁当や野菜などの販売を行い、青壮年部は特産のキュウリをPRしました。春の里は13人の出荷者が協力し、弁当などの加工品や蜂蜜、ちりめんじゃこなどを出品。加工品は約80食を用意しましたが約2時間で完売しました。青壮年部は、朝採れのキュウリを使った「高知式ちくきゅう」の試食を行い、部会と産地をPRしました。大庭啓太郎部長は「農家と消費者が直接交流できることはありがたい。県外の方にも新鮮なキュウリを味わってもらえて良かった」と話しました。

6 JA女性協 中国四国農政局 目指せ女性農業者増加



意見交換する参加者ら

中国四国農政局高知拠点では3月27日、高知市で「うち農業女子交流会」の第1回を開きました。女性農業者の存在感を高め、経営力の向上を図り、職業として農業を選択する女性の増加を目指すことが目的です。県内在住の女性農業者10人が出席。農業関係に興味がある事や今後の農業の発展・地域経済の活性化や農業現場の働きやすい環境づくりなどについて自由に意見を交換しました。参加したJA高知女性組織協議会の山中絵理加理事は「経営形態や作物によって異なる農業経営の考え方や取り組みを聞くことができ、とても勉強になった」と話しました。

4 高知地区 春野支所が春野東・西小学校に傘・旗を贈呈



傘を受け取る大崎校長④と贈呈する筒井支所長

春野支所は3月11日、高知市立春野東小学校・西小学校に「黄色い交通安全傘」73本と「横断旗」10本を贈呈し、筒井幸二支所長が西小学校の大崎博司校長に傘と旗を手渡しました。大崎校長は「黄色い傘は軽くて子どもたちも使いやすい。交通安全にもつながるので、大事に使うように伝える。旗は校外学習や地域の交通安全活動にも活用する」と話しました。寄贈はJA共済が地域貢献活動の一環として毎年続けており、今年が17回目。3〜4月には県内すべての新生一年生へ傘が、県内すべての小学校及び特別支援学校に旗が贈呈されています。



来店者にトマトをPRする吉川さん 写真④

1 JAグループ高知 旬のトマト食べ比べ！ JAグループ高知 トマトサミットに出店

JAグループ高知は3月9日と10日、高知市で開かれた「高知トマトサミット2024」に出店しました。イベントは県内のトマト農家と野菜ソムリエで作る高知トマトサミット委員会が主催し、今年で14回目。20のブランドトマトの試食提供と販売が行われました。今年初め、市内のイオンモール高知で開催。営農販売事業本部流通企画部の武政博三課長は「高知県民に大きく県産トマトをPRできる場所。消費者が県産にこだわりのを持って購入するきっかけになれば」と話しました。生産者の吉川浩正さんは「一人でも多くの方に、今一番旬の県産トマトを手にとって食べて、美味しさを感じて欲しい」と語りました。LINEでイベントを知り、香美市から訪れた40代の女性は「毎年県外の友人に贈るととても喜ばれる。自分でも、何種類か購入して食べ比べるのが楽しみ」と話しました。



高知なすのタタキを試食する三山さん④

2 JAグループ高知 三山ひろしさんが調理ショー 高知野菜・果物で簡単料理

高知県とJAグループ高知で構成する高知県園芸品販売拡大協議会は3月10日、高知市の中央公園ステージで「高知の野菜・果物かんたん料理教室」を行いました。高知県出身の演歌歌手、三山ひろしさんと野菜ソムリエ上級プロの西村有加さんがレンジでできる「高知なすのタタキ」をステージ上で調理。三山さんは、「高知なす」の宣伝隊長に就任していることや、「高知なす」に含まれるナス由来コリンエステルには、血圧が高めの方の血圧（拡張期血圧※）を改善する機能があることを紹介しました。そのほか「高知流ちくきゅう」に4種類のマヨディップをつけたいものなど「土佐のおきやく」に合う料理を作り、三山さんと西村さんは軽快なトークで会場を盛り上げました。いの町から訪れたファンの女性は「高知の野菜を意識して食べている。三山さんも野菜も応援している」と話しました。 ※血圧を測るときにいう、下の血圧の事

高知農業改良普及所より

地域全体で黄化えそ病対策に取り組みましょう！

～ミナキイロアザミウマ防除を徹底し、黄化えそ病の発生しない地域を目指しましょう～

メロン黄化えそウイルス (MYSV) は、ミナキイロアザミウマ (スリップス) が媒介し、キュウリやメロンなどのウリ科野菜に感染して、大きな被害をもたらします。



(出典) こうち農業ネット

黄化えそ病はなぜ深刻なのか！？

- ウイルスによる病気であり、発病すると治りません。
- 媒介虫であるミナキイロアザミウマの防除が困難です。
 - ・成虫の体長は約1mmと小さく、肉眼での観察が難しい。
 - ・薬剤抵抗性を獲得しやすく、高い防除効果を示す農薬が少なくなっています。

黄化えそ病対策は、ミナキイロアザミウマを「入れない」「増やさない」「出さない」！

👍 ハウスに入れない

- ◆防虫ネットの設置 (開口部)
- ◆周辺の除草
- ◆防草シートの設置
- ◆遮へい・バンカー植物の設置 (メトルソルゴ、クレオメなど)

👍 ハウスで増やさない

- ◆紫外線カットフィルムの設置
- ◆農薬のローテーション散布 (薬剤抵抗性の発達を防ぐ)
- ◆天敵の利用 (タバコカスミカメ、スワルスキーカブリダニ)

👍 ハウスから出さない

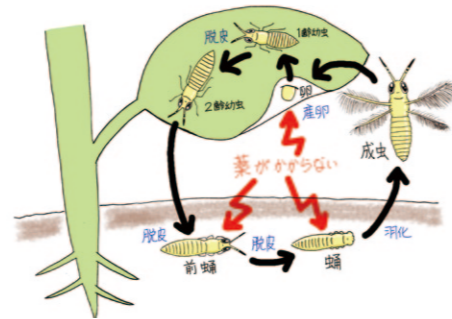
- ◆栽培終了後の蒸し込み (7日間以上)
- ◆感染株は適切に処理

ビニール袋に入れて、ミナキイロアザミウマと株の枯死を確認してから適切に処理！

ミナキイロアザミウマの生活環

ミナキイロアザミウマの卵はウリ科野菜などの葉、茎などの組織内に産み込まれます。孵化 (ふか) した幼虫はキュウリを加害しながら発育し、2齢幼虫の終わりころになると、植物から地表へ落下します。

卵、幼虫、蛹ともに発育できなくなる低温は10～11℃です。この温度よりも高い温度になるほど、発育は速くなります。



ミナキイロアザミウマを上手く防除するには

- ・殺虫剤には様々な種類のものがありますが、有効成分の分子構造からいくつかのグループに分けることができます。
- ・同一グループの殺虫剤を連用すると、集団の中に殺虫剤が効きにくい抵抗性を持ったミナキイロアザミウマが徐々に増え、やがて抵抗性を持ったものだけになり、殺虫剤がまったく効かなくなります。
- ・薬剤抵抗性の発達を予防するために、ローテーション防除 (散布のたびに異なるグループの農薬を使用すること) を行うことで、抵抗性をもったミナキイロアザミウマが出現しても次に使用する殺虫剤はよく効くため、害虫密度を低く抑え込むことができます。

主な殺虫剤のグループ

有機リン	ジアミド	呼吸阻害
マクロライド	カーバメート	
ネオニコチノイド	合成ピレスロイド	
IGR (脱皮阻害)	IGR (クチクラ層の硬化)	

黄化えそ病?!と思われる症状を見つけた場合

疑わしい症状を見つけた場合は、JA高知県春野営農経済センターまたは高知農業改良普及所にご相談ください。

お問い合わせ先：高知県中央西農業振興センター高知農業改良普及所
(TEL. 088-861-0711) (FAX. 088-861-0660)



春野営農経済センターからのお知らせ

高知地区 春野営農経済センター 営農指導課
電話:088-894-5660



農薬の安全使用について

農薬を使用する際は、下記の事項を守って農薬を安全に使用しましょう。



- 購入時：対象作物に農薬登録があるか確認しておきましょう。
- 使用前：農薬ラベルを必ず確認しましょう。(登録作物・回数・散布量・使用時期・回数)
- 散布中：登録のない作物へ飛散しないように風向きにも注意が必要です。
- 履歴の記帳：使用した農薬は、年月日・薬剤名・回数・散布量等の記録をしておきましょう。
- 片付け：散布器具 (動噴・タンク・ホース等) は散布後洗浄し、次回の散布時に農薬の混用がないようにしましょう。
- 保管：農薬はカギのかかる棚または倉庫に保管しましょう。
- 廃棄：農薬の空容器や空袋は、河川、水路等には絶対に廃棄してはいけません。廃棄物処理業者への委託や、JAの廃棄農薬回収等の機会を利用しましょう。

お米をおいしく楽しもう

お米の魅力を正しく伝えたい 五ツ星お米マイスター●小池理雄

お米はテレビ番組の特集で取り上げられることがあります。私の経営する精米店の場所は東京・原宿で、テレビ局や制作会社が比較的近いこともあり、出演のお声がけをいただくことがあります。ただ、テレビで取り上げられるお米の内容は、私たち米業界の人間が伝えたいことと若干の齟齬 (そご) があるため、出演のたびにそのギャップに頭を悩ませています。

番組的に求められるのは「分かりやすさ」です。例えば「炊飯方法」。よく「簡単においしく炊飯できるコツを教えてください」という要望があります。しかし炊飯は調理です。手間を惜しまないことがおいしいご飯への近道です。それを省略して得られるおいしさとは、果たしてそのお米が持っている本来の味なのか、いつも悩んでいます。

例えば「お米の味」。その味を見える化する手法に「食味マップ」があります。横軸に食感 (硬め、軟らかめなど)、縦軸に味 (甘い、あっさり・さっぱりなど) を取り、四つの領域を設け、そこにお米を品種別にマッピングします。知名度のあるお米では「硬め・さっぱり」の領域に当てはまる品種は少ないのですが、それだとバランスが悪いので、マイナーなお米を取って付けたようにそこに当てはめる場合があります。

分かりやすさを求めるが故に、見せ方、取り上げ方が極端になり、裏腹に細かい話、例外的な話が省略されることもあるのです。

ただ、こういった体験をすると、消費者目線で見たとときにお米に何が求められているのかが分かります。お米の味は淡泊で、見た目も地味です。そんな素材に視聴者から関心を持ってもらうにはどのようにすべきか。そこでテレビの制作側の皆さんは悩んでいるのです。本来、精米店をはじめとした米業界の人が悩むべき課題でもあるのです。

このような「番組制作の視点」を意識してみると、また新しい角度からお米の魅力を発掘できるかもしれませんね。



五ツ星お米マイスター 小池理雄 (こいけただお)
小池精米店三代目店主。1971年東京・原宿生まれ。大学卒業後、出版社、人事制度コンサルティングファームなどを経て、2006年に小池精米店を継ぐ。それまでの社会経験を生かし、新しいお米屋さんのあり方を常に模索している。

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

ついに我らが「とさのさと」が特集されてきましたね。いつも野菜や果物、魚にお花、何でもそろそろ新鮮な土佐の台所にお世話になっています！

(高知市高見町 29歳)

3月号の特集も楽しく読ませていただきました。実際に1店舗県外へ行ってきたのですが、事前情報があつて足を運ぶとより一層楽しめました！

(高知市大津乙 32歳)

▼3月号の特集1では、「四国のホットな直販所(後編)」で徳島県の直販所と「とさのさと」を紹介しました。昨月号の前編を読んで「行ってきました」などの声も多かったです。とても楽しんでもらえたようでうれしい限りです。

知り合いの農家さんで人生の先輩が出ていました。まじめな仕事ぶりが作物に表れていると思います。

(高知市升形 67歳)

今月の気になる人に大ファンのケーキ屋さんが出てきました。また買いに行きたいですね。

(春野町弘岡中 41歳)

▼「高知地区からこんにちは」では、農家さんや女性部さん、パン屋さんやケーキ屋さんを紹介しました。このコーナーに「知り合いが出ていた」と感想が届くのを毎月楽しみにしています。これからも、頑張る皆さんを紹介していきます！

チクカツの子供たちが可愛くて癒されました。

(高知市東秦泉寺 35歳)

▼チクカツ！では、安芸地区の食農教育事業「ちやくりん塾」の様子を紹介しまし

た。田植えや稲刈り、野菜の収穫を体験した子供たちの達成感ある笑顔がなんともかわいらしいですね。

プランター栽培に興味がありました。早速春野のグリーンに土や種を買いに行きたいです。

(春野町南ヶ丘 93歳)

ずっと始めようと思っていたプランター栽培について、準備物や一連の流れが分かりやすく書かれていて良かったです。

(春野町弘岡上 28歳)

参考にして種まきをしました。育つのが楽しみです。

(春野町西畑 70歳)

▼特集2では初心者の方でも楽しめるプランター栽培を紹介しました。栽培に用意するものから、プランターの選び方まで、分かりやすく解説しています。初心者の私も紹介した「初心者セット」を使って二十日ダイコンの栽培に挑戦。農家さんの大変さと収穫の嬉しさを感じました。コチットのイチオシ、ピザも食べに行きたい！

(春野町弘岡中 60歳)

▼「農園レストラン トリトン」の紹介では、日替わりトリトンランチをピックアップ。イタドリが入ったピザもおもしろそうですね。

色々と役に立つ内容で参考になっています。

(高知市仁井田 68歳)

▼嬉しいご意見ありがとうございます。これからも皆さんに楽しんでもらえる広報誌作りを心掛けていくので、応援よろしくお願いします！

【連絡先一覧表】

高知地区 (春野町)

企画組合員課 894-3033

はるちゃんのアイス屋 894-2760

春野支所

信用課 894-2203

共済課 894-3304

共済普及課 894-3309

他組織・子会社等

高知中央サービスセンター(事故処理) 821-6015

(株)JAエナジーこうち 春野給油所 828-6212

ルミエールはるの (フリーダイヤル24時間) 0800-200-5911

春野農機センター 894-5290

春野営農経済センター

購買課 828-6111

Aコープはるの直販所「春の里」 894-2225

重油係 828-6115

ビニール加工場 894-4264

経済渉外課 828-6111

JAグリーンはるの店 828-6161

販売課 894-2222

営農指導課 894-5660